

フリーペーパー

PECCO

Vol.44 2018.8



ポストンの快刀乱麻

～本を集める① 購入編～

13 追跡!
書架に本が並ぶまで

図書館の書架(本棚)にはたくさんの本が並んでいます。その数は書庫にしまっている分も含めるとおよそ78万冊。現在も毎年、1万数千冊ずつ増えています。これらの本や雑誌は、どのようにして図書館に入ってくるのでしょうか? 書架に本が並ぶまでの流れをポストンと一緒に見てみましょう!

図書館に本や雑誌が並ぶまでには「収集」「登録」「装備」の3つの作業工程があります。工程の第一段階である「収集」とは、図書館に並べる本を集めることで、その方法は大きく「購入」と「寄贈」の2つに分かれています。そこで今回は、「購入編」にスポットをあて、購入して収集する流れをカンタンに紹介します。



① 新刊情報の入手

「購入」は、主に新刊書を集めるための方法です。これからどんな本が発売されるのか、図書館に毎週届く新刊書カタログでチェックしています。また、出版社から直接「今度こんな本を出版します」という広告が送られてくることもあります。



新刊書カタログには毎月1,000～1,500点くらいの本が載っているんだって! それを1冊ずつチェックしていくんだね。

② 本を選ぶ

図書館に入れる本を選ぶことを「選書」といいます。選書を担当する職員は何人がおり、どの本を購入するか皆で相談して決めます。職員のお好みで本を選んでいるわけではなく、本を選ぶための基準があるので、その基準に基づきながら、蔵書全体のバランスや予算を考慮して購入する本を決めていきます。

本を選ぶための会議は毎週開かれるんだって。1年間で出版される新刊書は約8万点と膨大! 本を選ぶのも大変そうだね…。



選定会議

③ 注文

選書結果に基づき本を注文します。注文冊数はその月により多少変動しますが、平均して毎月500冊くらいの本を注文します。

電話やパソコンを使って注文するんだって。



電話で注文

④ 届いた本をチェック

本が届いたら、注文通り納品されているかを確認します。また、届いた本が破損していないか、ページが前後したり抜けたりしていないか(落丁・乱丁)も確認しています。

普段何気なく手に取っているけれど、細かいところまでチェックしているんだね。



To be continued > 次回は【寄贈編】だよ!

岩手県立図書館では、本を選ぶ際の拠り所として「収集方針」と「選定基準」を定めています。どちらも図書館ホームページで公開していますので、興味のある方はぜひご覧ください。当館では特に郷土資料(岩手県に關係する本)の収集に力を入れています。皆さんも本を発行した際は、ぜひ図書館にご寄贈ください! 未永く保存します。



本選びの基準ってなあに? ▶

県立図書館スタッフおすすめの本

盛りつけの発想と組み立て
デザインから考えるお皿の中の視覚効果

いつもの料理が
化けます

美しく実用的な盛りつけの本です。

請求記号 まちやまちほ 著
596.23/マチ 誠文堂新光社 出版

将棋
ポニーエース

頭脳の格闘技、将棋に挑む
高校生たちの熱い青春。
モデルは岩手高校の
囲碁将棋部です。

小山田 桐子 著
幻冬舎 出版

請求記号 K913.6/オヤ

県立図書館イベント案内

映画会

子ども向け 11:00～

毎月第2・4日曜日

8月	9月	10月
12日	9日	14日
26日	23日	28日

一般向け 14:00～

毎月第2・4日曜日
(翌月曜日再上映)

8月	9月	10月
12・13日	9・10日	14・15日
26・27日	23・24日	28・29日

おはなし会 14:30～

おはなし☆すてーしょん	8月	9月	10月
毎月第1・3日曜日	5日/19日	2日/16日	7日/21日
手づくりかみしばい	8月	9月	10月
毎月第2土曜日	11日	8日	13日
ファミリーおはなし会	8月	9月	10月
毎月第4日曜日	26日	23日	28日

図書館さんぽ コンシェルジュガイドツアー

毎月第1日曜日	毎月第4日曜日
10時～、13時～	11時30分～
8/5 9/2 10/7	8/27 9/24 10/22

休館日	8月	9月	10月
	31日(金)	28日(金)	27日(土) 31日(水)

平民宰相と呼ばれた男

～原敬首相就任100年～

期間 7/6(金)～9/2(日)

会場 4階展示コーナー

盛岡藩出身の原敬は、「平民宰相」として親しまれるものの、志半ばで凶刃に倒れます。国際化が進む激動の時代の中で、政治家・原敬はどう生きたのか。首相就任100年にあたり、関連資料からその生涯や功績を辿ります。

第33回 啄木資料展

期間 9/14(金)～11/18(日)

会場 4階展示コーナー

「第72回読書週間」(10/27～11/9)に合わせ、過去2年の間に当館が新たに収集した石川啄木関連資料を一堂に集めて展示します。

デッド・オア・アライブ



楢周平 著 / 光文社 出版

不正会計発覚で窮地にある総合電機メーカー・コクデンは、大自動車メーカー・タカバの向うを張って電気自動車事業に乗り出します。充電インフラは？銀行はどう動くのか？全固体電池の開発は？企業の生き残りかけた男たちの仁義なき戦いが、リアルな会話とともに繰り広げられます。著者は岩手県出身です。

宮沢賢治の地学教室



柴山元彦 著 / 創元社 出版

『グスコブドリの伝記』の「火山」や『雨ニモマケズ』の「日照り」など、宮沢賢治作品から地学に関わる部分を引用して、地学の基礎を解説。森の学校のケンジ先生と動物たちの会話を読みながら、地学の知識を深めることができる、楽しい一冊です。

震災地を歩く



Showay☆ 著 / 文芸社 出版

松島から八戸までの880 km余り、被災地を自らの足で2年半かけて歩いた26日間を写真と文章で綴った旅の記録です。軽快なテンポの紀行文となっていますが、巻末にある地図からは、著者の確かな足取りが伺え、圧巻。鎮魂と、東北へのエールが込められています。

鉱物

人と文化をめぐる物語



堀秀道 著 / 筑摩書房 出版

「この砂はみんな水晶だ」（『銀河鉄道の夜』）。宮沢賢治の作品には、多くの鉱物や岩石が登場します。宮沢賢治が石が好きになった謎をはじめ、モーツァルトが石の名前になったわけ、吉良上野介の墓石など、鉱物の不思議な真実を紹介しています。『宮沢賢治はなぜ石が好きになったのか』を改題・訂正したものです。

セブンズ！



五十嵐真久 著
KADOKAWA 出版

7人制女子ラグビーチーム「プロッサム」の監督を務める奥寺浩子は、来年開催される国体の優勝を目指し、チーム強化に奔走していた。浩子の妹を含め、個性豊かなメンバーが集まるも、寄せ集めのチームには何かが足りなかった…。架空の都市、岩手県釜崎を舞台にした物語です。『文芸カドカワ』で連載していたものを単行本化した一冊です。

さああてて ぼくはだれでしょう



小野寺悦子 文 / 和歌山静子 絵
福音館書店 出版

「さあ あてて ぼくは だれでしょう」の問いかけとともに、影が次々に姿をかえていきます。影絵の答えが分かるたびに「となりの おりこうねこくん」の姿がぱっと明るく元気いっぱいになります。形がどんどん変わっていき、言葉も長くなっていきますが…。言葉と影絵の遊びが楽しい絵本です。著者は岩手県在住です。